

まだ、かたちのない 想いを。

京都で、つくってみる半年間。

「なんとなく、こういうものがあつたらいいのに」。いまはその程度で構いません。
京都で活動する二人のプロジェクトマネージャーと、同じ時期に走る仲間と一緒に、
その想いをかたちにしていきます。

About このプログラムについて

京都府が主催する学生向けのプログラムです。ソフトウェア・アプリケーション・画像・映像・アニメ・ゲーム・VR/AR・AI・プログラミングなど、「つくる」ことに挑戦したい**関西の学生**を募集します。採択された方は、ビジネスの第一線で活躍する**2名のプロジェクトマネージャー**の伴走のもと、10月から3月までの約半年をかけて、自分のアイデアを**実際に動くプロトタイプ**へと形にしていきます。完成されたビジネスプランは必要ありません。まだ言葉にならない「こうなつたらいいのに」から始められます。まずは、エントリーいただき、そしてあなたが開発したいプロジェクトのアイデアを応募してください。

Apply 主な応募要件

応募できる方

関西6府県（京都・大阪・兵庫・滋賀・奈良・和歌山）の大学・大学院・高専・専門学校に在籍中の方（2026年4月1日時点で18歳以上）。期間中、6府県のいずれかに在住または通学していること。

応募の単位・併願

個人、または3名以内のチーム。1名につき1提案まで。他の類似プログラムに応募中の場合は申請書に明記（応募時点で類似プログラムに採択済みの場合は応募できません）。

締切・採択

2026年9月10日（木）17時／採択3件程度。

Entry 応募の方法

まずは、
WEBサイトから
エントリー。



- 1 WEBフォームで、所属・氏名・メールアドレスを送る（約1分）
- 2 事務局から、応募書類と提出先の案内が届く
- 3 応募申請書と学生証のコピーを提出

この時点で応募が確定するわけではありません。
まずは気軽に。

※詳細は、WEBエントリー後に届く募集要領を確認してください。

Support 用意しているもの

0円

参加費・AI利用料

参加費は無料。期間中のClaude Code使用料と参加必須プログラムの交通費は事務局が負担します。

40万円

活動支援費（税込）

ソフトウェア利用料、クラウドサービス利用料、開発用機材・部品の購入費、試作品製作費などに使えます。

2名

PMの伴走

ビジネスの第一線で活躍する二人が、プロジェクトマネージャーとして、あなたのプロトタイプ開発を支援します。

Program 応募から最終報告までの流れ

- 2026年9月10日（木）17時 応募締切
- 9月下旬 採択者決定（3件程度）
- 10月第三週 キックオフ：採択者、PM、事務局と顔を合わせ、開発アイデアを練っていきます。
- 10月第四週 アイデアブラッシュアップ：各自が考えてきたアイデアを持ち寄り、PMの助言を受けながら方向性を整えます。
- 11月第三週 初期プロトタイプのレビュー：試作や検討結果を共有し、議論しながら育てます。
- 11月中旬～12月上旬 メンタリング：オンラインで助言を受けながら、プロトタイプを作っていきます。
- 12月中旬 中間報告会：進み具合を参加者同士で共有します。
- 12月下旬～2月中旬 メンタリング：最終報告に向けて、プロトタイプと発表内容を整えていきます。試験期間など学業との両立に配慮して調整します。
- 2027年3月上旬 最終報告会：半年の成果を発表します。

Mentor 伴走するひと



古屋 俊和

ふるや としかず

株式会社テラバース 代表取締役CEO

AI研究者・起業家。データサイエンス分野での起業を経て、AIスタートアップのエクサウィザーズを共同創業し、同社の上場を実現。現在は京都大学との共同研究成果を活用した生成AI・メタバース関連事業を展開。これまで数多くの新規事業やスタートアップの立ち上げに携わり、若手起業家や研究者へのメンタリングにも取り組むなど、技術と事業の両面から挑戦的なプロジェクトを支援。



吉田 達也

よしだ たつや

NTT西日本株式会社

情報工学を専門とし、情報機器開発からキャリアをスタート。その後、スタートアップへのレンタル移籍、子会社立ち上げ、米国MBA留学などを通じて事業開発分野へ活動領域を拡大。直近まではNTT西日本のオープンイノベーション施設 QUINTBRIDGE にて産官学連携・スタートアップ共創による新規事業創出や技術の社会実装を支援。7月からはバリューデザイン部 ソーシャルイノベーション部門 社会基盤ビジネス担当にて大学関連サービス・システム開発に従事。



まずは、
WEBサイトから
エントリー。

応募締切

2026年9月10日（木）17時

ご所属・お名前・メールアドレスだけ。
この時点で応募は確定しません。

主催・運営等

主催：太秦フェスティバル実行委員会
（事務局 京都府 産業振興課）

共催：京都府

運営：文献ラボ株式会社

京都チャレンジプロジェクト事務局

- ・ 応募方法、応募書類、プログラム運営等に関するお問い合わせ
文献ラボ株式会社：contact_bunken@bunken-lab.com
- ・ 事業の内容・制度、その他に関するお問い合わせ
太秦フェスティバル実行委員会（事務局 京都府 産業振興課）：
sangyoshinko@pref.kyoto.lg.jp